

経済産業委員会

平成31年2月26日（火）

午前11時00分～午後0時07分

議会第3会議室

【出席委員】川副龍之介委員長、永渕史孝副委員長、久米勝也委員、中村宏志委員、  
中野茂康委員、武藤恭博委員、中山重俊委員、嘉村弘和委員、  
西岡義広委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・農林水産部 川副農林水産部長
- ・経済部 松尾経済部長  
ほか、関係職員

【案件】

- ・付託議案について（議案審査、採決・まとめ）

○川副委員長

それでは、全員の方がそろわれましたので、これより経済産業委員会を開催いたします。  
委員会の審査日程については、お手元のタブレット端末に掲載の審査日程のとおり進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないようですので、この審査日程のとおり審査を行います。

なお、付託議案の審査のために現地視察を希望される場合は、委員会終了までにお申し出ください。

それでは、日程に基づき、付託議案の審査を行いますので、交通局以外の職員の方は退室されて結構です。

◎関係職員以外退席

○川副委員長

それでは、交通局に関する議案の審査を行います。

第13号議案について、執行部に議案の説明を求めます。

◎第13号議案 平成30年度佐賀市自動車運送事業会計補正予算（第1号） 説明

○川副委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様からの御質疑をお受けいたします。御質疑のある方は挙手をお願いします。

ないですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

御質疑はないようですので、交通局に関する議案の審査を終わります。

交通局の職員の方は退室されて結構です。お疲れさまでした。

◎執行部入れかわり

○川副委員長

それでは、農林水産部に関する議案の審査に入ります。

第10号議案について、執行部に議案の説明を求めます。

◎第10号議案 平成30年度佐賀市一般会計補正予算(第9号) 説明

○川副委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様からの御質疑をお受けいたします。御質疑がある方は挙手をお願いします。

○中野委員

6款農林水産業費、77ページですね。経営体育成基盤整備事業でポンプの統廃合が計画されておられますが、まだ数とかは決まっていないと思いますが、今までの数から何割ぐらい減る形になるかわかりますか。

○碓農村環境課長

揚水機場、ポンプの数なんですけれども、今私どもで把握している数が107基でございます。それを89基に、今検討しております。107基のうちの34基を統廃合して、最終的には89基にするということです。単純に引いたら34になりませんが、残ったやつ、それと壊すやつを合わせて34基が検討の対象の施設になるということです。

(「わかりました」と呼ぶ者あり)

○川副委員長

いいですね。

ほかにないでしょうか。

○嘉村委員

77ページですけど、米政策推進支援事業費の集落営農組織法人化モデル支援事業費補助金、これは取り組み見込み数が少なかったということですけども、この理由というか、どういうふうに見ておられるのかなと思ひまして。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

法人化の研修会については、当初、うちが19組織ということで見込んでおりましたが、実質は7組織になりました。やはり法人化に向けては、各組織とも大体120組織、現在90組織ぐらいになっているんですけど、大体年2回、法人化のヒアリングを行い、研修会を開催してくれという要望があるところにつきましては、うちのほうから法人化研修の研修会に参加して内容説明等をしてしておりますが、やはりその地域によっては、なかなかその法人化まで行くのが難しい地域もございます。

法人化が目的ということではございません。あくまでも、地域を活性化させていくためにどういう方法がいいのかという選択肢の一つとして、法人化ということがございます。ただ、国の補助事業の要件に、交付金の要件として、法人化を進めていくということがありますので、粛々と、その法人化については足跡を残して進めていきつつ、法人化までいけるところにつきましては、法人化に行くというところで。この事業に乗るためには、この重点組織に指定する必要がございます。法人化がいけそうなところを、なるべく多くの組織を、19組織を重点地区ということで見積もっておりましたが、なかなか法人化に向けては簡単にいかないなというところで、実質は7組織になったということがございます。

○嘉村委員

ちょっともう一度。目標、その法人化の数があるでしょうけど、どの程度まで現状いつているんですか。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

現状は、現在、21組織が法人化をされております。もともと120組織あったところ、統廃合とかございまして、法人化組織が21組織で、集落営農組織が90組織になっております。

目標といたしましては、全ての組織を法人化まで持っていくというのが、一応目標としては上げているというところでございます。

○嘉村委員

あるところで聞いたんですけれども、集落営農から法人化に移行していくという中で、当初の面積も大分減って、これ認定農業者がそのグループから外れていったということで、年齢が65歳以上の高齢者の方ばかりであって、今後も本当にこう——10年ぐらいはオペレーターとしてもいいかわからんけど、組織そのものが成り立つかなと、倒産してしまうんじゃないかという不安を持っている方もいらっしゃるんですけど。だから、今、国も佐賀市のほうも法人化法人化ということでこれまで来たんですけれども、果たしてどうなんだろうというふうに思うんですけどね、いかがですかね。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

そういった新しく人を雇うということも、法人化になれば取り組みやすいですし、当然、地域の中では、例えば、カントリーを母体とした広域化——その集落だけではなかなか法人化も認定農業者もいらっしゃるということであれば、カントリーを中心とした大きな単位、くくりでの法人化についても、これからはちょっと考えていかなければいけないということで、法人化については、両面から、その集落営農組織単独の法人化と、あとは広域的な法人化を含めて検討しているところでございます。

○嘉村委員

広域的な法人化、それはもちろんそうですけれども、どうなんですかね。地域が少しこう、隣接するところとの法人化というのかわかりませんが、なかなかうまくいくのかなという不安もあるんですけどね。地域事情があつてね。それは努力していただかない

といけないかわかりませんが、ちょっとその辺どうお感じになっておられるか。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

そうですね、やはり広域の法人化となれば、特にカントリーがあるところは、カントリー単位で同じ農作物の作付とか、共同作業もちょっとしやすいという環境的にはございます。ただやはり、皆さんの同意とか、皆さんが一緒になってやっていこうということであれば、当然その作業の効率化とか、労働時間の縮減とかにもつながります。あとは経理関係を誰がやっていくのかというところが非常に重要なキーポイントになってきますので、その分についても、何とかその広域化したところの事務費補助みたいなところで考えていければなというところで模索しているところでございます。

○中山委員

カントリーを中心と言われたけど、カントリーがないような、例えば、私の地域では、兵庫地区なんかないでしょう。そこら辺はどうなっていくんでしょうか。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

当然、カントリーが存在しないところもございます。今の状況では、旧佐賀市で言えば、兵庫と鍋島地区がカントリーはございません。今、単独集落であるところ——例えば、鍋島であれば、今、圃場整備とかをされている地区は、鍋島東地区とか、鍋島本村地区とかでございます。その圃場整備を契機に集落営農組織をつくっていくという話もございますので、そこら辺を含めて、やはり隣接したその集落営農組織が一緒になれるかというのは、一つ大きなところでございます。

現在、人・農地プランということで、集落単位、例えば、兵庫地区なら兵庫地区全体で担い手をどうしていくかという話し合いを持つ場もございますので、そのような場で全体のことをどうしていこうかというのも考えていく必要があるんじゃないかというふうに思っております。

○中山委員

済みません、今のページの市内の8農業再生協議会の事務費を142万9,000円減額したというふうに言われているんですが、8農業再生協議会というのはどういうところですか。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

旧市町村単位で再生協議会がまだ合併しておりませんので、それぞれに再生協議会がございまして。

(発言する者あり)

そうです。旧1市6町1村のそれぞれに再生協議会が存在しているということで、今、合併に向けてもちょっと話をしているところでございます。その再生協議会の事務費が、当初ですね、国からだんだん減額がされてきておりますので、その分ですね、補助額がようやく確定したもので、ちょっとこう多目に事務費の分についても要望していた分が、最終的には確定したということでの減額でございます。

○川副委員長

いいですね。

ほかはないでしょうか。

○中村委員

法人化すると、ちょっと先ほどから出ていますが、経理面とか事務関係ですね。私が聞いている分では、作業日報等、それから場合によっては事務員の雇用、それから、お金の流れ、ここら辺の負担がちょっと大きくなってくのではないかなという声を私も結構聞くものですから、もう少し今後のそこら辺のお考えも含めて、もうちょっと詳しく教えていただけませんか。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

特に法人については、一番大きな課題としては、先ほど言われた経理事務を誰がしていくのかというところで、どこの組織も非常に悩んでいるところでございます。当然、まさに法人化の研修会とか運営補助については、そういった事務をされる方、法人化されていないところは、法人化に向けてどうしたことをやっていくかという研修会の補助になっております。

経理の部分については、税理士とか専門家の方を呼んで、研修も年に一、二回はやっております。今は、個別に経理面についての相談室みたいなところも、支援センターというのがあって、そこでいろんな話も相談もできるような体制をとっております。ただ、やはり地元の方の中から経理事務を含めてやっていかれる必要がございますので、当然、農業以外の方も含めて、今、集落の中でそういった経験のある方とか、そういった方を育てていこうというところなんです。それか、先ほど言いましたように、広域的にすれば、事務補助が軽減されるということもございますので、そこら辺も含めて、今、研修あたりで話をしているところでございます。

○川副委員長

中村委員、いいですか。

○中村委員

そこら辺はもう、例えば、人件費とか費用のところは、法人化した場合はそこで全部完結する、それにかわる何か援助というか、そこはないんですか。もうそのままですか。

○中山農林水産部副部長兼農業振興課長

とりあえず法人化をするまでは、いろいろ事務費の補助とかはございますが、法人化をしてしまった後については、一応、研修会とかはやるんですけど、直接、資金の補助とかはございません。

○中村委員

私が聞いている分では、結構その辺で負担が大きいという、その辺が結構重くてですね。ですので、そこら辺はもうちょっとフォローといいますか、ちょっとそこら辺しっかりお

願いたいなというところですよ。以上です。

○川副委員長

要望でいいですか。

(「はい、要望です」と呼ぶ者あり)

ほかにないでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかにも御質疑もないようですので、農林水産部に関する議案の審査をこれで終わります。農林水産部の職員の方は退出していただいて結構です。お疲れさまでした。

◎執行部入れかわり

○川副委員長

それでは、経済部に関する議案の審査に入ります。

第10号議案について執行部に議案の説明を求めます。

◎第10号議案 平成30年度佐賀市一般会計補正予算(第9号) 説明

○川副委員長

それでは、ただいまの説明について、委員の皆様からの御質疑をお受けいたします。御質疑のある方は挙手をお願いします。

○中山委員

経済部1のこの資料、この前もどなたか言っておられたんですが、雇用奨励金の出し方というのかな、例えば、7番目の株式会社フォーバルは、5人のうち5人もこれは正規ということですけど、17番目の株式会社Cygamesは、34人のうちゼロと。ここら辺はちょっと何とかならんでしょうかね。正規の雇用という形での要請というか、そこら辺はどうなっているんですか。

○大野工業振興課長

これは会社の雇用の形態ということになります。Cygames社につきましては、スタートとしては非正規での雇用、それから、経験、研修などを経て、正規採用の道があるということで採用されています。この最初の1年、スタートというのは、もうほとんど非正規としての採用ということになっている状況でございます。

○中山委員

ここに出ている分は、一番近いところの奨励金の出してあるところでしょうけど、全体的にこの25社で雇われて、そして正規と非正規の関係がどのようになっているのか、もしよかったら、ちょっとその表を出せるようであったら出していただきたいんですが。

○川副委員長

資料の請求ですが、どうでしょうか。

○大野工業振興課長

定期的に雇用調査を行っておりまして、この25社の総枠、個別のものについては、比率

を出さないということをお約束して調査をしておりますので、総数というようなことでお示ししてもよろしゅうございますか。

ちょっと今手元にありませんけれども、後ほどお示しするというところでよろしゅうございますか。

○川副委員長

中山委員、いいですか。

○中山委員

できれば、もうそういう形で。お金を1人50万円出すわけですからね。ですから、相当な額になるかと思っておりますので、そこら辺はやっぱりぴしっと強く——やっぱり当局が、いわゆる市が絡んでいる、そういうお金を出すところは、もうできるだけ正規を雇っていただくように強く言っていただきたいんですよ。やっぱりそこが一番大事なことじゃないかなと思って。どこでしたかね、大分県日田市でしたか。そういうところも市長がやっぱり乗り込んでと言ったらいけませんけど、そういうところまで行って、正規をぜひお願いしたいということやっているとというふうなことを聞いたことがあるんですけど、そういうこともぜひお願いしたいですね。

きょうは、もし出せるようであれば、全体のうちのという数字をいただければと思います。

○川副委員長

ちょっと委員の皆様にお諮りしたいと思いますけど、先ほど中山委員のほうから、資料請求ということで話っております。これは委員全体の、総意でいいですか。個人的に中山委員のほうからの資料請求ということで、どうでしょうか。皆さん必要ですか。委員会全体での資料請求となれば、審議に関係することですので、ちょっと……

(「資料出されると言うたろ」と呼ぶ者あり)

全体の総数しか出せないということでしたので。

(「企業別に知りたかとやろうもん」と呼ぶ者あり)

○嘉村委員

総数というのは、新規雇用で、佐賀市で雇った数ということかな。もらっていいじゃないですか。

○川副委員長

現状で働いている方の雇用、正規と非正規ということで、全体のほうを出すということですね。

○嘉村委員

地元の雇用としてでしょう。採用された方の数を把握できるということかな。

○川副委員長

地元は、佐賀市出身とかできるんですか。

○嘉村委員

もちろん、地元というのは佐賀市含めて、近隣も含めてもいいですけど、本社から来た人分じゃなくて、地元採用という意味でわかるかということです。

○大野工業振興課長

地元、ちょっとくくりが少し大きくなりますけれども、地元採用という、地元の人ということで、全体数としてお示しができます。

(「企業だと本社から来て、あとは地元採用になるから。地元採用の分だけわかればいいです」と呼ぶ者あり)

あと補足して、地元というのは佐賀市、佐賀県、ちょっとくくりが少し県まで大きくなるうかと。

(発言する者あり)

それとあと、配置転換かどうかあれですけども、ちょっとその配置転換という表ができませんけれども、地元ということで。

○川副委員長

そしたら、委員会の総意ということで資料をお願いするということですけど、当然、必要であれば、資料提出していただいて説明を求めますけど、その分はどうでしょうか。説明を求めますか。

いいですか、求めなくて。

いいですね。もし何かあれば、個人的に直接聞いていただければと思いますので、審議の中では説明を求めないということを確認しました。

資料の提出はいつごろまでに大丈夫ですか。

○大野工業振興課長

きょうじゅうでよろしゅうございますか。

○川副委員長

わかりました。

ほかにないでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかに御質疑なければ、経済部に関する議案の審査を終わります。

経済部の職員の方は退出されて結構です。お疲れさまでした。

◎執行部退室

○川副委員長

それでは、以上をもちまして当委員会に付託された議案の審査が終了いたしました。

今回の付託議案の審査に関して、現地視察の御希望はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なしですね。



それでは、引き続き採決に移りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、採決に入る前に、今回、委員会に付託されました議案について反対意見はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないですね。ないようでございますので、全ての議案について、一括して簡易採決を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議なしということですので、そのように採決いたします。

お諮りします。当委員会に付託された第10号及び第13号議案について、可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、当委員会に付託された全ての議案について可決すべきものと決定いたしました。

以上で、当委員会に付託された議案の採決を終了しました。

次に、本会議での委員長報告についてはいかがいたしましょうか。

(「一任」と呼ぶ者あり)

そしたら、もう正副委員長に一任ということでいいですね。

最後に、委員会の会議録が公開されることに伴いまして、委員会における字句、数字その他の整理についてお諮りいたします。

本委員会の会議録につきましては、字句、数字その他の整理については委員長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないようですので、委員長に委任することに決定いたしました。

それでは、以上をもちまして経済産業委員会を終了いたします。